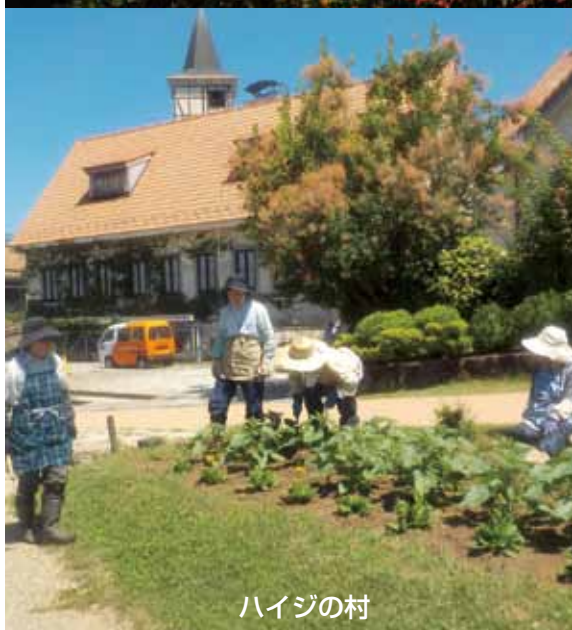


# シルバー やまなし

第43号  
令和6年9月



ハイジの村

韮崎中央公園はシルバーが管理しています。

(写真提供：韮崎市観光協会)

## \*\*\* 目 次 \*\*\*

○表紙(目次)	1 ページ
○会長あいさつ	2 ページ
○山梨労働局職業安定部長あいさつ	3 ページ
○山梨県多様性社会・人材活躍推進局長あいさつ	4 ページ
○令和6年度定時総会	5 ページ
○令和6年度事業計画(概要)	7 ページ
○令和6年度安全・適正就業	10 ページ
○高齢者活躍人材確保育成事業	11 ページ
○女性会員の更なる拡大に向けた活動	13 ページ
○最近のシルバー人材センター事業実績	14 ページ
○令和5年度シルバー人材センター事業状況	15 ページ
○お知らせ・編集後記	16 ページ



## 原点回帰「自主・自立」「共働・共助」の理念のもと、 会員の家族や友人など身近な繋がりから

山梨県シルバー人材センター連合会 会長 上村 英司

この度、本年度の理事会及び定時総会におきまして、理事の皆様よりご推薦をいただき新たに会長に就任いたしました上村英司でございます。

関係各位の皆様には、シルバー事業に対するご指導とご鞭撻を引き続きよろしくお願い申し上げます。

また、前会長の鈴木幹夫理事には、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、様々な課題に取り組んでいただき厚く御礼申し上げます。

さて、各センターでは、感染症対策や熱中症対策など、会員の健康管理に十分な対策をしていただき、大きな問題もなく事業運営がされているところでございます。

数年間に渡り、感染症対策への対応に追われた日々も徐々に落ち着きを取り戻し、コロナ前に戻りつつあります。また、経済活動も活発になる中で、産業界においては人手不足や担い手不足が生じております。現代社会の急速な高齢化と人手不足などから、就業提供の場や働き手としてシルバー人材センターへの期待が一層高まっています。

しかしながら、近年シルバー人材センターを取り巻く状況は、ますます厳しくなっており、定年制の延長や再雇用など高齢者にとって就業の幅が広がり、就業機会の拡大と会員の確保がここ数年の課題であります。入会者や会員数の減少を解決するためには、まず、もう一度原点回帰して「自主・自立」「共働・共助」の理念のもと、会員の家族や友人など身近な繋がりから周知徹底を図り、連合会、センターが連携強化する中で、様々な要望や課題に積極的に取り組みながら組織の拡充を図っていかねばなりません。

地域のニーズに沿った多様な就業機会の提供や地域の役に立つ時代の要請にあった事業の展開と、「第2次会員100万人達成計画」に基づく会員の拡大と、シルバー人材センターのイメージの転換として広報の積極的な展開を目指してまいります。

こうした事業実施のため、連合会と各拠点センターがさらに連携を密にして事業の推進に努めていく考えでございますので、各拠点センターの会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、山梨労働局並びに山梨県のご支援につきましても引き続きよろしくお願い申し上げます、あいさつとさせていただきます。





## シルバー人材センター事業に関する 所感・推進などについて

山梨労働局 職業安定部長 工藤 由範

山梨県シルバー人材センター連合会、各拠点のシルバー人材センター並びに会員の皆様におかれましては、日頃より労働行政の業務運営につきまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

少子高齢化と労働力人口の減少が進む我が国において、これからも経済社会の活力を維持するためには、豊富な経験や知識を有する高齢者が希望や特性に応じて年齢にかかわらず活躍できる社会を築いていくことが重要な課題となっています。

山梨労働局としましても、令和3年4月に改正されました高齢者雇用安定法に基づき、70歳までの就業機会の確保と就業環境の整備に取り組んでいるところです。

併せて、山梨労働局の委託事業「高齢者活躍人材確保育成事業」により、シルバー人材センターの新規加入会員及び利用企業の拡大・活用を推進し、また、ハローワーク甲府とハローワーク富士吉田に設置しております生涯現役支援窓口等においては、シルバー人材センターと連携のうえ高齢者の就職支援に努めているところです。

デジタル技術の活用や本年11月のフリーランス・事業者間取引適正化等法の施行など、シルバー人材センター事業を取り巻く環境は変化しておりますが、生きがいを感じながら元気に過ごされる会員の皆様には、長年培ってこられた知識と経験を生かして、地域に活力を与えていただくため、支え合いや就労の担い手となっていただくことは不可欠と考えております。

また、その活動の基盤・拠点として、地域高齢者の多様な就業機会を確保し、高齢者が生涯現役として社会参画や活躍の場を開拓する支援、さらには介護、育児等の現役世代を支える分野及びサービス業等の人手不足分野において、高齢者が技能継承を含めた活躍ができる環境を整えるという先駆的な観点からも、シルバー人材センター事業は、今後、益々重要な役割を担われるものと確信しております。

山梨県シルバー人材センター連合会の更なるご発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍を心より祈念するとともに、山梨労働局及び各ハローワークとの一層の連携につきまして、よろしくごお願い申し上げます。



## シルバー人材センター事業の推進について

山梨県多様性社会・人材活躍推進局長 古澤 善彦

公益社団法人山梨県シルバー人材センター連合会及び各拠点シルバー人材センターの皆様には、日頃から県政推進に対し御理解と御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

県が実施した高齢者福祉基礎調査によりますと、令和6年4月1日現在、65歳以上の人口は25万3千人、総人口の31.6%を占めており、全国平均の29.2%を2.4ポイント上回り、高齢社会への進展が顕著です。

しかし、本県の健康寿命が男女ともに全国2位と高く、元気に働き続ける高齢者が多いといった側面もあり、大変心強く感じています。

人生100年時代を迎える中、長く地域社会や経済に貢献された方が、意欲を持ち、改めて活躍し続けることができる社会を築くことは重要であり、シルバー人材センターの果たす役割は極めて大きいものと考えております。

センターは近年、新型コロナウイルス感染症の影響で会員数や業務受注件数の減少が続き、今もなおその影響が残っていると伺っております。

こうした中においても、新規会員の獲得や新たな就業先の開拓など、活力の維持に向け鋭意取り組み、令和5年度の契約金額は約23億4,400万円、前年度を2.7%上回ったこと、これはひとえに役職員の皆様をはじめ、センターあがての尽力の賜物と、深く敬意を表する次第です。

業務拡大のご要望に関しましては、昨年4月から「プラスチック製品製造」の就労時間について、上限を週40時間まで延長したところであり、今後も皆様のニーズに応えるべく、努めて参ります。

なお、県「高年齢者就業機会確保事業費等補助金」については、普及啓発や就業開拓を通じて会員拡大、就業拡大などにご活用いただいているところですが、今後県では、シルバー世代の就労や健康面に大きな役割を果たしている皆様方と連携し、多様な雇用環境の充実に取り組んで参ります。

シルバー人材センターにおかれましては、引き続き会員の確保はもとより、長年培った知識や技能を発揮できる新規事業の開拓を進めるなど、高齢者の生きがいや社会参加の促進、もって活力ある地域づくりに御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、会員各位の益々の御健勝と御活躍を御祈念申し上げ、挨拶といたします。

# 令和6年度 定時総会開催される

公益社団法人山梨県シルバー人材センター連合会の令和6年度定時総会が去る6月19日（水）に、山梨県立男女共同参画推進センターぴゅあ総合において、全会員の出席のもと、来賓に、山梨労働局職業安定部工藤部長、山梨県多様性社会・人材活躍推進局小林次長にご出席をいただき開催されました。

鈴木幹夫会長のあいさつに続いて、鈴木議長の議事進行により、報告事項4件、議決事項2件が審議されました。提出された議案につきましては、全て原案のとおり承認されました。また、任期満了に伴い新たに理事11名、監事2名が選任されました。

- ① 報告第1号 令和5年度収支補正予算について
- ② 報告第2号 令和5年度事業報告について
- ③ 議案第1号 令和5年度収支決算について（監査報告）
- ④ 議案第2号 役員を選任について
- ⑤ 報告第3号 令和6年度事業計画について
- ⑥ 報告第4号 令和6年度収支予算及び第1回収支補正予算について



令和6年度定時総会の様子



# 令和6年度総会に於いて新たに選任されました

山梨県シルバー人材センター連合会役員任期満了に伴いまして、6月19日の定時総会において新たに新役員が決議され、選任されました。第2回理事会において、会長・副会長・常務理事が選定されました。

## 公益社団法人 山梨県シルバー人材センター連合会 役員名簿

役 職 名	氏 名	所 属
会 長	上 村 英 司	峡北広域シルバー人材センター
副 会 長	齋 城 和 久	甲府市シルバー人材センター
常 務 理 事	上 矢 敏 彦	山梨県シルバー人材センター連合会
理 事	小 林 信 保	東部広域シルバー人材センター
理 事	鈴 木 幹 夫	東山梨地区広域シルバー人材センター
理 事	渡 邊 雅 彦	富士五湖広域シルバー人材センター
理 事	細 野 幸 男	峡南広域シルバー人材センター
理 事	保 坂 武	峡中広域シルバー人材センター
理 事	米 山 崇	南アルプス市シルバー人材センター
理 事	山 下 政 樹	笛吹市シルバー人材センター
理 事	野 崎 行 廣	学識経験者
監 事	小 泉 孝 博	学識経験者
監 事	芦 澤 徹	甲府市シルバー人材センター

## 各シルバー人材センター 理事長(会長)・事務局長名簿

シルバー人材センター名	理事長(会長)	事務局長	設立年月
(公社)甲府市シルバー人材センター	齋 城 和 久	芦 澤 徹	S56. 4
(公社)東部広域シルバー人材センター	小 林 信 保	井 上 重 隆	S63. 4
(公社)東山梨地区広域シルバー人材センター	鈴 木 幹 夫	小 林 茂 夫	H 2. 4
(公社)富士五湖広域シルバー人材センター	堀 内 茂	渡 邊 雅 彦	H 2.10
(公社)峡北広域シルバー人材センター	上 村 英 司	小 泉 雅 人	H 3. 1
(公社)峡南広域シルバー人材センター	望 月 利 樹	細 野 幸 男	H 3.11
(公社)峡中広域シルバー人材センター	保 坂 武	齊 藤 一 己	H 4. 2
(公社)南アルプス市シルバー人材センター	金 丸 一 元	米 山 崇	H 4. 3
(公社)笛吹市シルバー人材センター	山 下 政 樹	荻 野 重 行	H 4. 6
(公社)山梨県シルバー人材センター連合会	上 村 英 司	上 矢 敏 彦	H10.10

# 令和6年度 事業計画（概要）

## 第1 シルバー事業を取り巻く状況

新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ移行され、感染予防をする中で徐々に日常を取り戻しつつあるが、シルバー事業は、コロナ禍の影響で、年々会員数が減少している状況から抜け出せずにいる。そのため、コロナ前の令和元年度の数値を目標として、コロナ前の会員数に戻す事を目標に取り組むこととする。

## 第2 事業の展開

少子高齢化が急速に進む中で、高齢者が地域社会の課題解決の担い手となって活躍するシルバー事業は、地域から寄せられる期待とその役割は大きいものがあり、会員拡大、組織の活性化や事業の一層の充実等を図る必要がある。

このため、高齢者や企業の多様なニーズに応えるべく連合会と各拠点センターがより一層の連携を図り、次の9つの事項を重点として事業の展開を図る。

### 1 中期計画の策定

人生100年時代を迎え高齢者が年齢に関わりなく働き続けることのできる生涯現役社会を実現することが求められており、シルバー連合の目指す方向性を示す中期計画をこれまでの経過を十分に検証した上で策定をする。

### 2 会員の増大及び就業機会の拡大

活力ある団体運営を行うには、会員の増大と就業拡大が重要であり、全シ協が示した「第2次会員100万人達成計画」に基づき会員拡大を図る。特に女性会員の確保に努め目標達成を図る。

### 3 女性会員の更なる拡大に向けた活動

高齢者人口の男女割合からみて余地が大きい女性会員の確保に重点的に取り組む。

### 4 多様な働き方の推進

シルバー事業の基本的な働き方である従来の請負・委任業務に加え、高齢法第39条に基づく業務拡大も視野に入れたシルバー派遣事業の推進に努める。

### 5 安全・適正な業務運営

安全で適正な就業はシルバー事業において基本となるものであり、傷害・損害事故等の防止や新型コロナウイルス感染症対策に努め、公益法人として法令順守の立場から適正就業ガイドラインに基づき、不適正な請負業務の是正等に努める

### 6 地域社会や関係機関との連携

シルバー人材センターは、地域の高齢者に働く場を提供して地域社会に参加し貢献しようとするものであり、日常的に地方自治体との連携、ハローワーク等関係機関及び業界団体等との情報交換の強化などに努める。

### 7 新規事業への対応

国や県への補助事業や地方自治体との連携等、新規事業への積極的な取組により組織運営に必要な財源確保を図り、安定的な事業運営に努める。

## 8 デジタル技術の活用

デジタル技術を活用した業務の効率化、会員へのスマホを活用した業務連絡やWeb入会システムの導入の推進に努める。

## 9 SDGsの取り組み

人口減少、少子高齢化が進展している中で、だれもが、いくつになっても活躍できる社会の実現に向けて、地域の日常に密着した就業機会を提供することにより、高齢者の社会参加や、高齢者の生きがいの充実等に貢献している取り組みは、SDGs(持続可能な開発目標)の達成に大きく貢献している。このことを広く周知をし、シルバー人材センターの役割を十分発揮することにより、持続可能な社会の実現に努める。

# 第3 事業計画

連合会は各センターと連携して、会員や発注者のニーズに応えるべく以下の各事業を行う。

## 1 研修事業

シルバー事業の組織運営や事業運営に当たっては役職員及び会員がシルバー事業の理念を十分理解し、専門的又は実践的知識を得ることが必要で、これらの事業運営を行うための研修会を開催、参加する。

- (1) 中央研修会(会長・局長研修、派遣元・職業紹介責任者講習、関プロ研修等)参加
- (2) 連合会が行う研修会(経理研修等)実施

## 2 安全・適正就業

- (1) 安全就業(安全・適正就業強化月間(7月)の設定、安全・適正就業推進委員会開催、安全パトロールの実施、安全就業研修会の開催等)
- (2) 適正就業(適正就業ガイドライン、受注リストの点検等)

## 3 シルバー派遣事業

- (1) シルバー派遣事業運営委員会の開催
- (2) 高齢法第39条に基づく業務拡大の推進、衛生委員会の設置等

## 4 職業紹介事業

- (1) 60歳以上で「臨・短・軽」の雇用を希望する方に職業を紹介する。

## 5 普及啓発事業

- (1) 普及啓発促進月間(10月)の設定
- (2) 広報・普及啓発活動の推進

## 6 指導事業

- (1) 公益社団法人として組織運営・財政運営の確立等の指導

## 7 情報の収集・提供等

- (1) シルバー事業に関する情報の調査・収集及び周知
- (2) センター間における調整等

## 8 就業機会の開拓・拡大

- (1) 県下事業所等への訪問による就業開拓・拡大
- (2) イベント会場等における就業機会の開拓



## 9 新規事業への検討

(1) 人手不足分野や地域のニーズに対応した新規事業に対して地方自治体等と連携し積極的な参入に努める。

## 10 フリーランス新法への対応

(1) 政省令・ガイドラインに則って、就業条件の明示等の確実な履行を図る。事務の効率化を図るため、デジタル化を進める。

## 11 消費税における適格請求書等保存方式への対応

(1) インボイス制度の施行後も業務の効率化や経過措置期間に応じた料金設定等を通して、安定的な事業運営に向けて必要な対応を行う。

## 第4 高齢者活躍人材確保育成事業

労働力人口の減少等により、人手不足分野や現役世代を支える分野での担い手不足が問題となる中、シルバー人材センターの周知・広報等を積極的に行い会員増と当該分野での高齢者の就業を推進する。

- (1) 高齢者や企業に対する周知・広報の実施
- (2) シルバーに関心のある高齢者や企業に対する就業体験の実施
- (3) シルバーの就業を希望する高齢者等に対する技能講習の実施
- (4) 連絡会議の開催（国・県・シルバー連合・労使団体等）

## 第5 法人管理事業

### 1 正会員・賛助会員の拡大

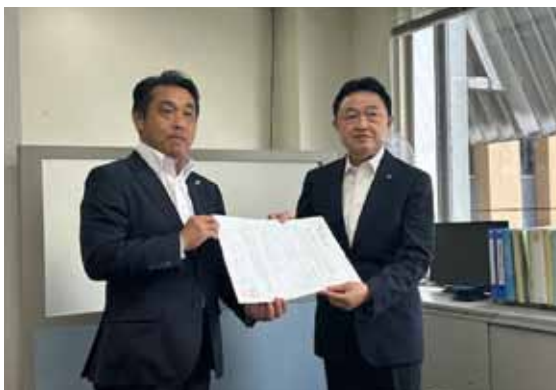
### 2 諸会議の開催及び参加

- (1) 定時総会及び理事会等の開催
- (2) 全シ協定時総会・事務局長会議等、関東ブロック協議会理事会・事務局長会議等への参加

山梨県

\*\*要請行動の様子\*\*

山梨県議会



堀内詔子衆議院議員



山梨労働局



森屋宏参議院議員 小泉秘書



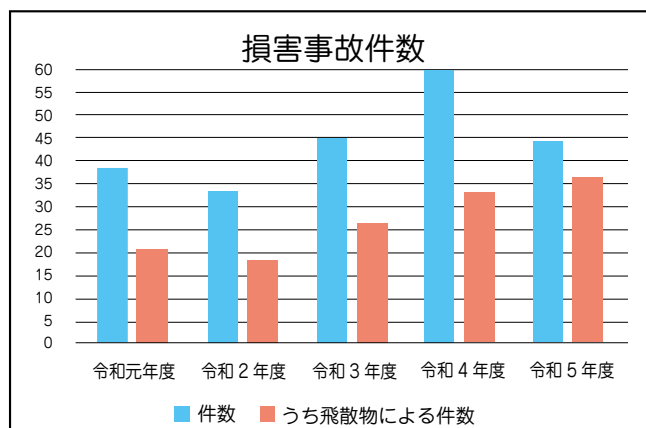
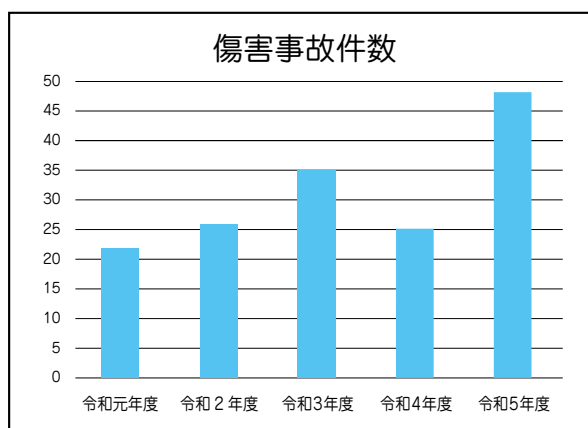
# 令和6年度安全・適正就業 第1回安全・適正就業推進委員会が開催される

令和6年度第1回安全・適正就業推進委員会が去る7月5日(金)に山梨県男女共同参画推進センターぴゅあ総合において開催されました。令和5年度の傷害事故及び損害事故報告とその対策、令和6年度安全・適正就業強化月間の設定と強化月間中の各センターの事業の取り組み、適正就業のポイントなどを確認しました。令和5年度の事故状況を見ますと、傷害事故は令和4年度に減少していましたが5年度は再び増加しました。損害事故につきましては、令和2年度に一旦減少しましたが増加しており、特に、飛散物（刈払機からの飛び石）による事故が半数以上を占めています。



## 傷害・損害事故件数の推移

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
傷害(転倒・転落等)	件数	22	26	35	25	48
損害(対人、対物)	件数	38	33	45	60	44
	うち飛散物による件数	21	18	27	33	37



# 高齢者活躍人材確保育成事業

労働力人口の減少等により、人手不足が顕在化している分野や現役世代を支える介護分野等での担い手不足が課題となる中、当該分野での高齢者の就業を推進することは喫緊の課題となっています。

こうした中、シルバー事業やシルバー人材センターを広く知っていただくため、テレビやラジオのスポットコマーシャルや新聞広告、市町村広報・業界紙広告などを活用し、高齢者や企業等に対し積極的に周知・広報することとします。また、会員確保のための各種技能講習、就業体験の開催や、県内の労働団体、経済団体、国・県、シルバー連合が一体となった「やまなし高齢者活躍人材確保育成事業連絡会議」を開催するなど、地域におけるシルバーの更なる活用促進を目指すこととします。

## 【令和6年度 やまなし高齢者活躍人材確保育成事業連絡会議委員名簿】

団体・機関名	役職名	氏名
山梨労働局職業安定部職業対策課	課長	村松 千里
山梨県多様性社会・人材活躍推進局	課長	川崎 健司
日本労働組合総連合会山梨県連合会	事務局長	宮下 竜三
山梨県経営者協会	専務理事	早川 幸夫
山梨県商工会連合会経営支援課	課長	佐々木 和範
山梨県商工会議所連合会	事務局長	花田 智
山梨県中小企業団体中央会経営支援課	課長	堀内 修
山梨県シルバー人材センター連合会	事務局長	上矢 敏彦





# 高齢者活躍人材確保育成事業 技能講習及び就業体験事業

高齢者の皆さんが、シルバー人材センターに興味を持ち自信をもって就業できるよう技能講習や就業体験を行っています。当連合会が開催する技能講習・就業体験を受講して、就業に必要な能力・技術を身につけて、シルバー人材センターの会員となり多くの方が就業しています。

## 令和6年度技能講習

- 認知症介助士講習
- 調理補助講習
- 整理収納・清掃・接遇講習
- 植木剪定講習
- 刈払機安全講習
- 障子・網戸張替え講習
- 介護施設運転講習
- 介護補助入門講習
- くだもの栽培講習
- 手刈り・刃物砥ぎ講習
- 遺跡発掘講習
- チェーンソー安全講習



植木剪定講習（昨年度）の様子



農業補助講習の様子





# 女性会員の 更なる拡大に向けた活動

今回は南アルプス市シルバー人材センターの活動を紹介します。



「生き生きエプロン班」による  
清拭布作成作業の様子



「寄ってけし処」による  
作品展示会の様子

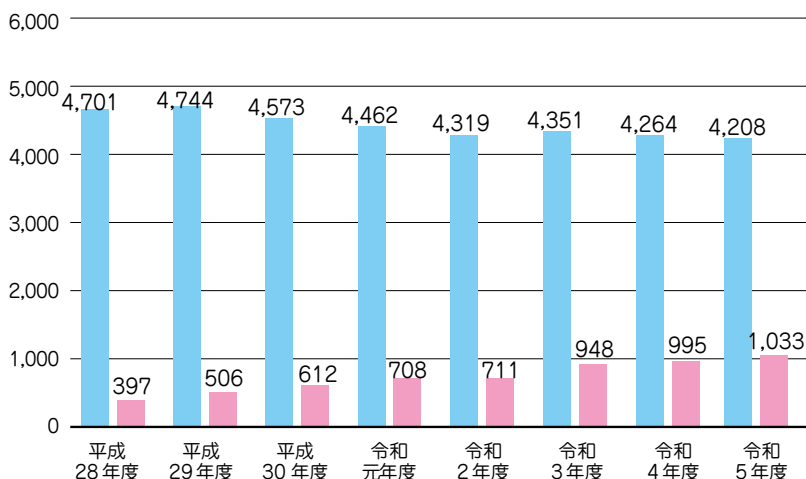


# 最近の

## 山梨県シルバー人材センター連合会事業実績

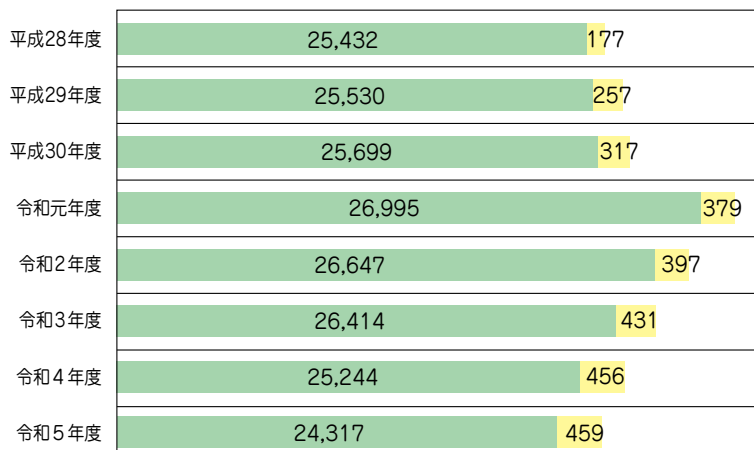
### 会員数の推移

区分	会員数	
	計	うち派遣
	人	人
平成28年度	4,701	397
平成29年度	4,744	506
平成30年度	4,573	612
令和元年度	4,462	708
令和2年度	4,319	711
令和3年度	4,351	948
令和4年度	4,264	995
令和5年度	4,208	1,033



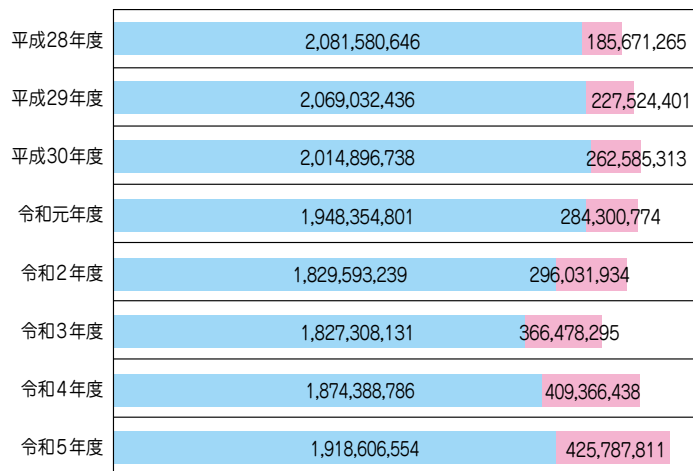
### 契約件数の推移

区分	契約件数		
	請負・委任	派遣	計
	件	件	件
平成28年度	25,432	177	25,609
平成29年度	25,530	257	25,787
平成30年度	25,699	317	26,016
令和元年度	26,995	379	27,374
令和2年度	26,647	397	27,044
令和3年度	26,414	431	26,845
令和4年度	25,244	456	25,700
令和5年度	24,317	459	24,776



### 契約金額の推移

区分	契約金額		
	請負・委任	派遣	計
	円	円	円
平成28年度	2,081,580,646	185,671,265	2,267,251,911
平成29年度	2,069,032,436	227,524,401	2,296,556,837
平成30年度	2,014,896,738	262,585,313	2,277,482,051
令和元年度	1,948,354,801	284,300,774	2,232,655,575
令和2年度	1,829,593,239	296,031,934	2,125,625,173
令和3年度	1,827,308,131	366,478,295	2,193,786,426
令和4年度	1,874,388,786	409,366,438	2,283,755,224
令和5年度	1,918,606,554	425,787,811	2,344,394,365





# 令和5年度

## シルバー人材センター事業状況

### 令和5年度 シルバー人材センター実績表

(令和5年4月～令和6年3月)

シルバー人材センター名	月末会員数(人)									就業実人員		就業率		事業別就業延日人員(人日)			事業別契約件数(件)		
	男	入会 退会	女	入会 退会	計	入会 退会	うち派遣登録			請負 委任	派遣	請負 委任	派遣	請負 委任	派遣	合計	請負 委任	派遣	合計
							男	女	計										
(公社)甲府市シルバー人材センター	345	42	158	18	503	61	111	24	135	396	88	78.7%	65.2%	40,867	6,396	47,263	5,141	34	5,175
	▲20	62	▲14	32	▲34	95													
(公社)東部広域シルバー人材センター	220	23	53	13	273	36	15	2	17	242	20	88.6%	117.6%	23,487	2,826	26,313	1,966	4	1,970
	▲12	35	▲7	20	▲19	55													
(公社)東山梨地区広域シルバー人材センター	235	34	162	35	397	69	42	40	82	349	84	87.9%	102.4%	29,411	6,095	35,506	1,675	56	1,731
	▲9	43	12	23	3	66													
(公社)富士五湖広域シルバー人材センター	331	38	129	22	460	60	42	14	56	424	40	92.2%	71.4%	44,631	4,658	49,289	2,146	16	2,162
	▲14	52	▲8	30	▲22	82													
(公社)峡北広域シルバー人材センター	320	37	129	29	449	66	63	26	89	375	89	83.5%	100.0%	35,397	6,216	41,613	3,287	35	3,322
	1	36	12	17	13	53													
(公社)峡南広域シルバー人材センター	258	38	133	29	391	67	52	7	59	310	106	79.3%	179.7%	23,485	8,676	32,161	2,272	77	2,349
	3	35	5	24	8	59													
(公社)峡中広域シルバー人材センター	497	61	251	41	748	102	229	90	319	519	211	69.4%	66.1%	60,606	20,514	81,120	2,688	144	2,832
	2	59	7	34	9	93													
(公社)南アルプス市シルバー人材センター	297	31	185	27	482	58	67	50	117	368	82	76.3%	70.1%	34,543	4,934	39,477	2,386	39	2,425
	▲4	35	5	22	1	57													
(公社)笛吹市シルバー人材センター	337	33	168	19	505	52	120	39	159	368	95	72.9%	59.7%	34,497	7,860	42,357	2,756	54	2,810
	▲5	38	▲10	29	▲15	67													
合計	2,840	337	1,368	233	4,208	571	741	292	1,033	3,351	815	79.6%	78.9%	326,924	68,175	395,099	24,317	459	24,776
	▲58	395	2	231	▲56	626													

シルバー人材センター名	契約金額(円)										
	請負・委任契約金額			派遣事業契約金額			事業別契約金額			金額割合	
	公共	民間	計	公共	民間	計	公共	民間	計	公共	民間
(公社)甲府市シルバー人材センター	53,099,692	155,251,344	208,351,036	28,204,039	15,395,868	43,599,907	81,303,731	170,647,212	251,950,943	32.3%	67.7%
(公社)東部広域シルバー人材センター	68,858,954	84,529,879	153,388,833	7,341,533	13,658,017	20,999,550	76,200,487	98,187,896	174,388,383	43.7%	56.3%
(公社)東山梨地区広域シルバー人材センター	72,422,874	79,277,792	151,700,666	26,847,258	13,045,375	39,892,633	99,270,132	92,323,167	191,593,299	51.8%	48.2%
(公社)富士五湖広域シルバー人材センター	142,837,566	212,025,167	354,862,733	14,271,529	12,570,610	26,842,139	157,109,095	224,595,777	381,704,872	41.2%	58.8%
(公社)峡北広域シルバー人材センター	76,701,778	137,806,750	214,508,528	18,278,975	24,089,722	42,368,697	94,980,753	161,896,472	256,877,225	37.0%	63.0%
(公社)峡南広域シルバー人材センター	76,800,860	79,091,643	155,892,503	35,600,788	15,647,472	51,248,260	112,401,648	94,739,115	207,140,763	54.3%	45.7%
(公社)峡中広域シルバー人材センター	189,422,614	131,907,930	321,330,544	89,625,896	33,327,243	122,953,139	279,048,510	165,235,173	444,283,683	62.8%	37.2%
(公社)南アルプス市シルバー人材センター	48,590,717	123,788,984	172,379,701	14,393,128	13,876,565	28,269,693	62,983,845	137,665,549	200,649,394	31.4%	68.6%
(公社)笛吹市シルバー人材センター	72,505,342	113,686,668	186,192,010	21,437,978	28,175,815	49,613,793	93,943,320	141,862,483	235,805,803	39.8%	60.2%
合計	801,240,397	1,117,366,157	1,918,606,554	256,001,124	169,786,687	425,787,811	1,057,241,521	1,287,152,844	2,344,394,365	45.1%	54.9%

# \* \* \* お知らせ \* \* \*

## 【全シ協役員（監事）就任】

去る6月20日に、公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会（全シ協）の令和6年度定時総会が開催され、役員改選において山梨県シルバー人材センター連合会の上村英司会長が鈴木幹夫前会長から引き継ぎ全シ協の監事に選任されました。

## 【連合会事務所移転】

令和6年4月1日から、山梨県甲府市蓬沢1丁目15番35号 山梨県自治会館1階に事務所を移転しました。ピンク色の建物です。場所もわかりやすく、広い駐車場で、会議室も多数用意されておりますので、より利用しやすくなりました。お気軽にお寄りください。



## 編 集 後 記

当連合会の職員に異動がありましたので報告します。

皆様に期待されるシルバー事業の推進にこれからも職員一丸となって取り組んで参りますので、変わらぬご指導とご協力をよろしくお願い申し上げます。

## \* \* 事務局職員の異動 \* \*

- 【採用】 事務局次長 水上直樹（令和6年4月1日）  
【退職】 事務局次長 宮澤祐仁（令和6年3月31日）

シルバー  
やまなし

第43号

●編集発行  
(公社)山梨県シルバー人材センター連合会  
甲府市蓬沢1丁目15番35号 山梨県自治会館1階  
TEL055-228-8383

●令和6年9月発行  
●印刷所 アイプランニング